

西北部Ⅱブロック
地域の未来についての懇談会
(通算第130回)

開催日	平成30年5月24日(木)
開催時間	午後6時30分～午後8時30分
会場	青和地域ふれあい会館
参加者	37名



意見・質問等	市側の発言
<p>1. 児童が帰宅するときの安全対策が大きな課題になっているが、バンビーホームからの帰宅の際の安全対策について</p>	<p>1. 富雄の地域でバンビーホームからの帰宅の際の見守りを始めていただいたのは、本当にありがたいと思う。なかなかどこでもできることではないので、皆さんの力も借りながら、市の方もいろいろと工夫して、特に子どもには力を入れていきたい。</p>
<p>2. 先行して行われているコミュニティ・スクールにおいて、よかった活動や参考になることについて</p>	<p>2. 今までは地域の公園で子どもが騒いだりごみを散らかしたりしたとき、学校へ苦情が来るパターンが多かったが、コミュニティ・スクールをしている学校では、地域住民と学校と一緒に考えて、共に取り組まれた等の報告がある。</p>
<p>3. 青和地区に自治会が31あるうち地区自治連合会には18しか加入していないが、そんな状態でコミュニティ・スクールをつくって、効果があるのかということについて</p>	<p>3. 市に50の地区自治連合会があり、46の小学校があるが、一律に同じ形で進めてくださいということではなく、学校と地域が話し合いの場を持って参画いただくという形からのスタートでよい。地区自治連合会の参加団体が少なく広がりが難しいというところは、学校と十分話し合いをしてもらおう場から始めていただければいい。</p>
<p>4. 地域包括ケアシステムは高齢者の暮らしを支えるシステムで、今までは国がいろいろな形で支援していたのを、奈良市で行っていくような形にしているのではないかと思うことについて</p>	<p>4. 高齢者がどんどん増えていき、その支えとなる働き手の世代が少なくなっていくので、介護保険制度が維持できなくなるということが国全体で起こっている。それを受けて地域で支え合う体制をつくるというのが地域包括ケアシステムであり、いろいろなサービスの種類・担い手を組み合わせて、なるべく地域単位で行うというのが、基本の考え方になっている。</p>
<p>5. 地域自治協議会をつくることに頑張っていきたいが、それを進めるための拠点が必要であ</p>	<p>5. 共同でいろいろな団体が使うにしても、最低限の事務所機能があれば活動のしやすさが変わってくるので、地域の拠点整備をしっかりと行っていきたい。二</p>

るため、二名公民館西登美ヶ丘分館の耐震工事を検討してほしいことについて

6. 地域自治協議会は今まで活動してきた地区の自治連合会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会・自主防災防犯組織の4つの団体が1つの団体になるのか。市からの助成金はどうなるのか。半分近くの自治会が地区自治連合会に参加していない状況の中で、地域自治協議会の会費はどうなるのか等について

7. この地域には奈良女子大学附属小学校や帝塚山学園があるが、コミュニティ・スクールの制度は、国立や私立の学校ではどのように運営されるのかについて

名公民館西登美ヶ丘分館は老朽化していると聞いており、耐震化も含めて考えていきたいと思う。

6. 4つの団体がなくなるということは現時点では考えていない。補助金については、先行して行っている市では包括的な補助金になっているところもあるし、今までどおりというところもあるが、奈良市では当面はやはり今までの形というのがスタートだと思う。自治組織の基本は自主性で行っていただくのが原理原則であり、地域自治協議会はまずは入れるところだけでも入っていただき、より効果的で安心できると実感できる活動の実態をつくっていただく。地域ごとの特性に応じた自治の形をつくっていくというのが、最後のゴールになる。

7. コミュニティ・スクールは、国の制度として、国立や私立の学校ではつukらないということではない。ただいろいろな地域から来られているところがあり、そこはきっと考えておられると思う。国立や私立の学校でどんな形で行われているか、また情報を仕入れておきたい。